

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	02	0406	高齢者社会参加活動推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-5	福祉の充実			
	施策	2	高齢者福祉の充実			
目的	高齢者の社会参加・社会貢献活動の推進					
対象	高齢者等					
意図	高齢者の社会参加・社会貢献活動の推進を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○老人クラブ事業補助金 市内単位老人クラブの事業活動への補助を実施した。 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)</p> <p>○老人クラブ連合会事業補助金 花巻市老人クラブ連合会事業活動への補助を実施した。 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3+市単独補助)</p> <p>○老人クラブ連合会特別活動事業補助金 花巻市老人クラブ連合会の特別事業活動に対する補助を実施した。 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	市内に組織し活動している老人クラブ数	団体	計画	162	149	
			実績	149	139	
②	老人クラブ会員数	人	計画	6,664	6,380	
			実績	6,380	5,960	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	60歳以上における老人クラブ会員数の割合	%	目標	24.0	24.0	
			実績	16.7	15.5	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
[H26成果指標の設定根拠] 『花巻市高齢者いきいきプラン2012～2014 (花巻市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画)』の策定時に成果指標項目と平成24年度から平成26年度までの目標値を設定している。 ・高齢者の老人クラブ加入割合 平成22年度における実績値 (24.14%) に対し、同率を維持することを目標としているところであるが、老人クラブ離れが顕著である。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	高齢社会における地域づくりを担う老人クラブの活動に対し市の支援は不可欠である。(老人福祉法第13条)
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	老人クラブの活性化を図るため、魅力ある組織や活動を見出す必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	県の基準に基づいた補助金交付を行っているほか、市独自の補助金を上乗せ交付している。組織の性質から他からの収入は見込めないため補助金に頼らざるを得ないことから削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	老人クラブの活動経費は、相応の会員負担が伴っている。また、補助金額には会員数に比例し増減するものとなっている。
総合評価 …上記評価結果の総括		
高齢者の生きがいがいづくり、社会参加活動の推進のため、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動組織である老人クラブ等に対する補助支援の実施により、当該組織の運営や活動の活性化に資することができた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	03	01	02	0406	高齢者社会参加活動推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		7,651	6,924		△ 727
財源内訳	国・県	3,743	3,325		△ 418
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,908	3,599		△ 309

事業期間	○ 単年度繰返	□ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らせるまちをつくる

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第13条に基づく事業補助。昭和37年老人福祉法制定以後老人クラブの結成が進み、現在は地域を基盤とした高齢者の自主組織として活動補助金を得ながら、生きがいがづくりや健康づくりなどの活動のほか、清掃奉仕などの社会貢献活動など多彩な活動で、地域づくりに寄与する団体となっている。

事業概要

- 老人クラブ事業補助金
市内単位老人クラブの事業活動への補助を実施した。
(県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)
- 老人クラブ連合会事業補助金
花巻市老人クラブ連合会事業活動への補助を実施した。
(県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3+市単独補助)
- 老人クラブ連合会特別活動事業補助金
花巻市老人クラブ連合会の特別事業活動に対する補助を実施した。
(県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)

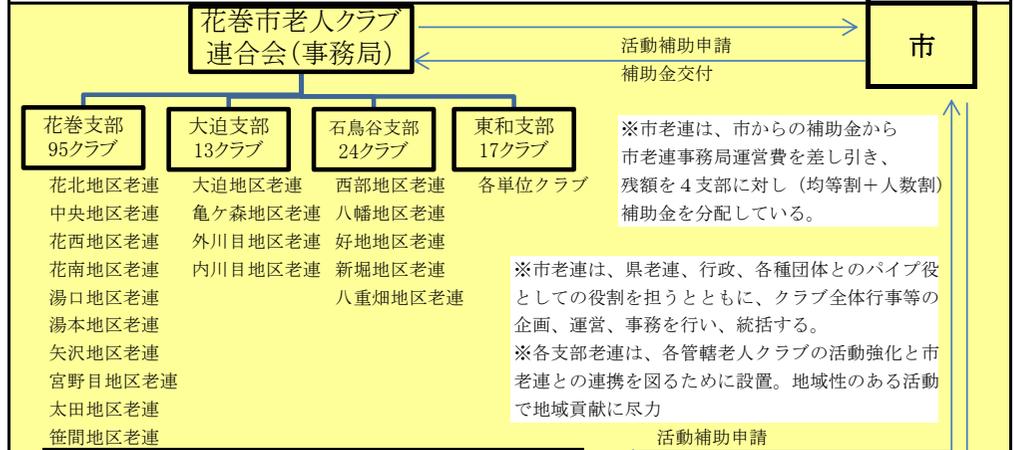
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

地域を基盤とする高齢者の自主組織である老人クラブは、高齢社会の地域づくりの中心となる組織でもあり、元気な高齢者組織として地域活動を先導していく役割を期待される。

担当部署 部名 生活福祉 課名 長寿福祉 担当係長 坊澤尚行 内線 514

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



単位老人クラブ 139クラブ (H26年度)

- 老人クラブ活動事業補助金 4,130千円
会員数規模による定額補助(県補助金交付基準による)
H26基準 11~30人 27,600円 → 36クラブ 993,600円
31~50人 28,800円 → 61クラブ 1,756,800円
51~60人 32,400円 → 20クラブ 648,000円
61~80人 33,600円 → 10クラブ 336,000円
81人以上 36,000円 → 11クラブ 396,000円
計 4,130,400円
(県国補助分2,753,000円、市補助分1,495,800円)
- 老人クラブ連合会事業補助金 2,394千円
補助対象分 458,000円(A)=均等割部分160,000+5,960人(会員数)×会員割部分50円
市嵩上げ分 1,936,000円(B)=H25県補助基準484,000円×4(旧4市町支部)
補助総額 (A)+(B)=2,394,000円
- 老人クラブ連合会特別活動事業補助金 400千円(C)
県国補助分=A+C×2/3=586,000円 市負担分293,000円

県補助基準の変更(H26)

- 単位老人クラブへの補助 H25 H26
H26基準 11~30人 28,800円 → 27,600円 ▲1,200円
31~50人 30,000円 → 28,800円 ▲1,200円
51~60人 33,600円 → 32,400円 ▲1,200円
61~80人 34,800円 → 33,600円 ▲1,200円
81人以上 37,200円 → 36,000円 ▲1,200円

- 老人クラブ連合会への補助
165,000円+@50円×会員数 → 160,000円+@50円×会員数